

# 病院の 実力

九州・山口編

# 十分な栄養摂取重要

資格で、個々の患者に合った栄養や食事のアドバイス、給食の運営などを行うことができる。施設の規模にもよるが、どのくらいの数の管理栄養士がいるのかは患者への対応の一つの目安になる。

今回の病院の実力は「がんの病院食」がテーマ。栄養バランスの良い食事は治療効果を上げるのに役立つが、がん患者はやせる傾向にあり、食事で十分な栄養をとることが重要だ。

がん患者は症状悪化のほか、治療の影響でも食べる量が減る。手術直後はもちろんだが、抗がん剤や放射線治療の副作用による吐き気や口内炎、味覚・嗅覚への影響などで食欲がなくなりやすい。副作用は数か月続き、症状は患者ごとに違う。

## がんの病院食

個別の患者への栄養指導の件数(2016年度)も実績の一つとして示した。同年度の診療報酬の改定で新たに保険点数として、がん患者に対する個別の栄養食事指導が認められた。

管理栄養士が、勤務時間中に病棟で活動する時間の割合も、患者との距離感を見る上で参考になる。

食べ物をのみ込みにくくなった患者向けの嚥下訓練食の種類は、食事に対する施設の工夫がうかがえる。栄養は錠剤や点滴で補充すればよいと思われがちだが、口から食べることで筋力のアップにもつながり、治療の効

果も上がる。

### ■味付けにさじ加減

飯塚病院(福岡県飯塚市)は昨年7月から、抗がん剤治療を受ける一部の入院患者に、味付けを濃くするなどした専用の食事を昼と夕に提供している。きっかけは、がん患者を対象に院内で行ったアンケート。基礎代謝に必要なカロリーを食事から摂取できず、たんぱく質が不足している患者は5割ほどにとどまり、約6割が味付けについて「薄い・やや薄い」と回答。食事について「満足・やや満足」と答えたのは約3割しかいなかった。

「治療に向けて体力をつけるためにも、しっかりと食事を食べてほしい」。そう考えた管理栄養士の重松由美さんが中心となり、改善したのが食事メニュー



飯塚病院(福岡県飯塚市)の管理栄養士の重松由美さん。写真が中心となり、改善したのが食事メニュー

だ。アンケートで麺類が人気だったために選んだ焼きそばのほか、食べやすい茶わん蒸しなど、普段は提供しないメニューを追加した。がん患者からも「食べやすい」と好評で、カロリー摂取量も徐々に改善しているという。患者への栄養指導にも力を入れる。食事の際には、14人の管理栄養士が各病棟に常駐。たんぱく質を優先して摂取するよう助言するなど、患者の病状に応じて指導しており、昨年度の指導件数は約1600件に上った。

### ■回診にも参加

山口大病院(山口県宇部市)では、栄養治療部の管理栄養士が患者の体調や治療方法、患者自身の要望などを勘案してメニューを考案。医師や看護師、薬剤師らでチームで決定している。

同部の有富早苗・副部長「写真から管理栄養士2人は、がん患者の食事や栄養に特化した「がん病態栄養専門管理栄養士」という学会認定資格も併せ持つ。03年からは入院患者の食事指導の内容を決めるため、医師らと一緒に回診もしている。



山口大病院(山口県宇部市)の管理栄養士の有富早苗さん。写真が中心となり、改善したのが食事メニュー

「食」の悩みは患者ごとに異なる。例えば食道がんの場合、水分が多いものを食べる逆流を起す可能性があるため、鼻から内視鏡を入れて、嚥下機能に問題がないかを調べる。その結果に応じ、刻んだ食材にあんをかけてのみ込みやすくするなど、もう一手間をかけることもある。

食欲が落ちた患者には、常温で保存できるジュースや栄養補助食品などを「分割食」として食事に添え、患者が空腹になった時に口にしてもらえるよう工夫するという。

### ■食べる楽しみも

有富副部長がもうひとつ強調するのが、「栄養摂取だけでなく、まずは食べてもらうことが大事」ということ。子どもにはオムライス、希望すればラーメンもと、食べる楽しみを持ってもらえるメニュー提供を心がけるゆえんだ。退院後は、味覚・嗅覚の異常による食欲不振で、低栄養になる患者が多い。調理の工夫についてもアドバイスするという有富副部長は「病気と長く闘う人たちにおいしく食べてもらおう。そのことが最も重要です」と話している。

## 病院の実力「がんの病院食」

医療機関別実績(読売新聞調べ)

医療機関名	管理栄養士(人)	がんの栄養指導(件)	病棟活動率(%)	嚥下訓練食(種類)
<b>山口県</b>				
山口大	21	981	—	5
地・徳山中央	11	815	—	4
県立総合医療セ	10	231	30	3
<b>福岡県</b>				
九州大	19	473	—	4
聖マリア	15	212	10	4
福岡大	15	69	29	1
飯塚	14	1593	93	4
久留米大病院	14	379	13	6
産業医大	9	236	25	5
地・九州	9	25	65	7
済生会福岡総合	7	1613	90	25
北九州市立医療セ	5	100	45	5
国・九州がんセ	4	1253※	41	4
<b>佐賀県</b>				
好生館	12	376	75	4
佐賀大	8	0	0	4
<b>長崎県</b>				
長崎大	19	1020	30	7
国・長崎医療セ	11	80	60	10
佐世保市総合医療セ	10	420	55	1
長崎原爆	6	40	7	5
県島原	5	48	25	7
長崎みなとメディカルセ	0	41	32	5
<b>熊本県</b>				
済生会熊本	20	879	60	4
熊本大	20	194	6	7
国・熊本医療セ	10	62	13	3
荒尾市民	4	13	35	5
<b>大分県</b>				
大分赤十字	6	271	15	2
<b>鹿児島県</b>				
国・南九州	11	503	20	4
鹿児島市立	9	—	5	5
出水郡医師会広域医療セ	7	309	27	4
相良	5	736	50	0

「国・」は国立病院機構、  
「地・」は地域医療機能推進機構、  
「セ」はセンター。  
「—」は無回答または不明。  
※は非加算含む。